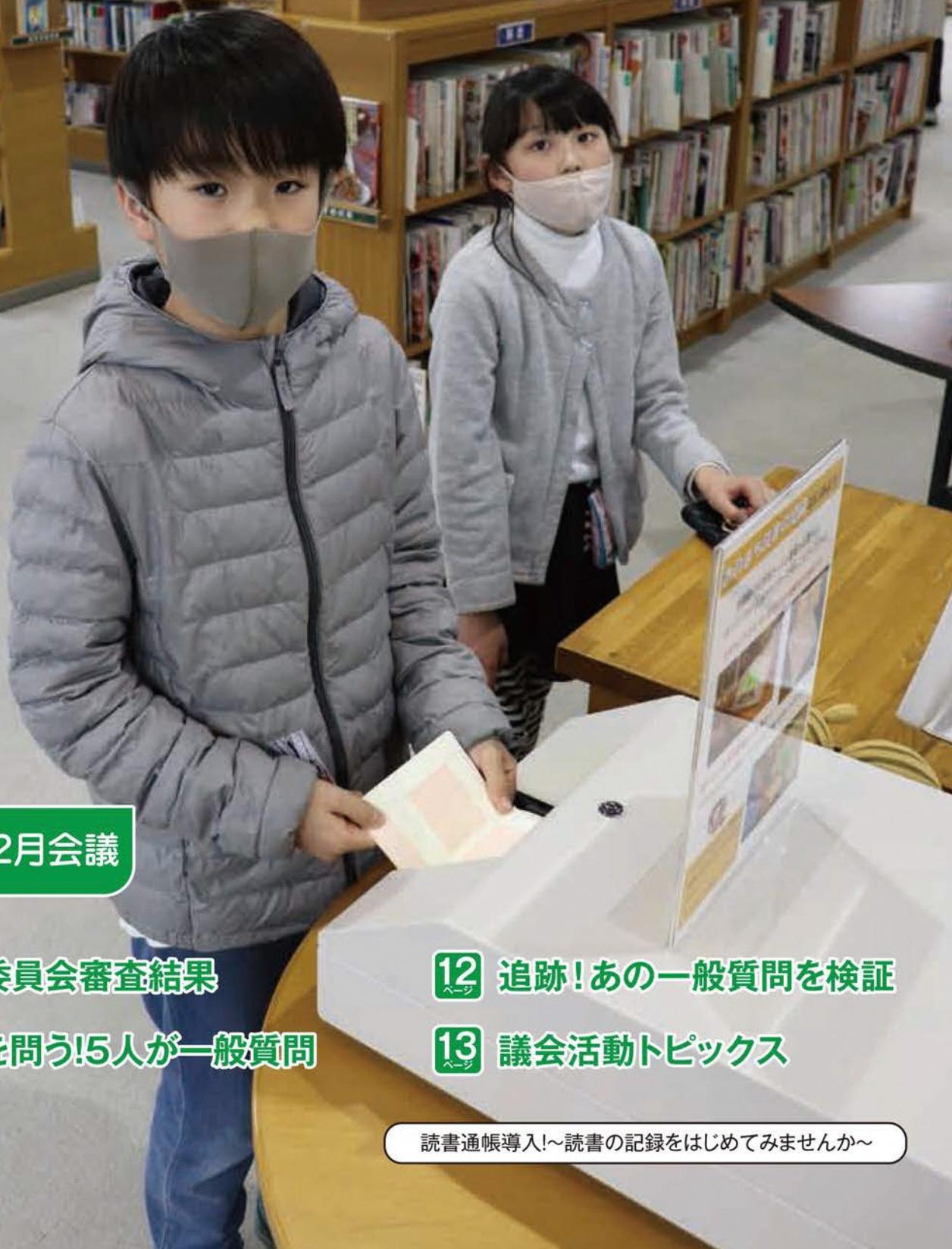




おのまち 議会だより

165号

令和3年
2月12日発行



定例会12月会議

4 ページ 常任委員会審査結果

6 ページ 町政を問う!5人が一般質問

12 ページ 追跡!あの一般質問を検証

13 ページ 議会活動トピックス

読書通帳導入!~読書の記録をはじめてみませんか~

定例会12月会議

12月3日～9日



▲座席の間隔を空けて本会議を開催

令和2年小野町議会定例会12月会議が7日間の日程で開かれました。

会議では、令和2年度各会計補正予算、条例の制定や一部改正など10件の町長提出議案と、議員提出議案1件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。

また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考え方をただしました。

令和2年度 各会計補正予算

令和2年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	982万円	70億7377万円
特別会計	国民健康保険	10万円
	介護保険	574万円
	浄化槽整備推進事業	114万円
会水道事業	収益的収入	2万円
	収益的支出	18万円

※1万円未満切り捨て

◆小野町国民健康保険税条例の一部を改正

令和3年1月1日施行の個人所得課税の見直しに伴い、給与所得控除や公的年金控除から基礎控除へ10万円の振替等を行うことから、国民健康保険税や給付の負担に不利益が生じないよう算定方法を見直すため、所要の改正を行つものであります。

◆小野町税特別措置条例の一部を改正

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の改正に伴い、適用条項の条番号改正に伴う改正と年号の改正を行うものです。



条例制定1議案、条例の一部改正2議案、条例の廃止1議案を可決しました。制定等の概要は次のとおりです。

条例制定・一部改正・廃止

◆小野町高齢者福祉対策基金条例を廃止

高齢化社会の到来に備え、平成2年に老人福祉対策を確立するための資金を積み立てるために制定されましたが、制定から30年以上が経過していること、現在、運用を停止し残高もないことから、廃止するものです。

本条例を補完するものとして、小野町地域福祉基金条例が平成3年に制定されています。

契約締結

◆小野町テレワーク用パソコン購入契約の締結について

新型コロナウイルス感染症対策として、本庁舎以外での業務を可能にするためのテレワーク用パソコン50台やソフトウェアを購入するものです。

予定価格が700万円以上であることから、議会の議決を経て契約を締結するものです。

契約額：654万5千円



請願・陳情の審査結果

◆日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する陳情

陳情者：福島県原爆被害者協議会
会長 木幡 吉輝

付託委員会：総務文教常任委員会
審査結果：継続審査

◆国の制度として「20人程度学級」を展望した少人数学級の実現を要望する意見書の提出を求める陳情

陳情者：福島県教職員組合田村支部
支部長 仲澤 市雄

付託委員会：総務文教常任委員会
審査結果：継続審査



議員提出議案

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、町の事務調査のため議員を県内に派遣することについて、提案したものです。

議案提出者：渡邊 直忠 議員

11月第1回会議開催

11月30日に令和2年小野町議会11月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆町長等の給与及び旅費に関する条例、議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例、職員の給与に関する条例の一部を改正

関連する法律の一部改正及び福島県人事委員会の勧告等に伴い、特別職や議会議員、職員の期末手当の支給割合を改正するものです。



ここが聞きたい 質疑

常任委員会審査

令和2年度一般会計及び各特別会計補正予算、条例の制定・一部改正・廃止について、常任委員会で審査を行いました。質疑について、いくつかをお知らせします。

健康福祉課

答 今年度までに町内10箇所に12基設置している。

問 防犯カメラの設置台数は。

町民生活課

答 交流・定住支援館（旧アルパイン寮）の1階の一部をレンタルオフィスとして貸し出している。町内で新たに事業を行う方が対象となる。3部屋あり、料金は広さによって月1万円と1万5千円となっている。使用期間は6か月間で、1回延長が可能である。

問 レンタルオフィスの概要是。

予算決算常任委員会

問 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について、安全性が確認されていない中でまだ実施できない中と思うが、予算化の内容は。

答 国では迅速にワクチンを多くの国民に接種することを目指すことから予備費を使用し、ワクチンが供給可能となつた場合、早期に接種開始できるよう準備するものである。町では、対象者へのクーポン配布のためのシステム整備や医療機関等との調整を実施する予定である。

答 土地改良区については、近年土地改良事業が実施されなかつたため、土地改良区の組織運営維持に係る経費がかさんでいた。現

問 土地改良区が解散したことに対しても、町として問題はないか。

産業振興課

答 生涯学習講演会の開催、小町ふれあいフェスタへの出展や親子体験クラブの開催時の謝礼、ぐるっと小野町講座事業などを実施する予定であった。

教育課

問 生涯学習推進事業は、どのような内容を予定していたのか。

答 選挙に係るビラの作成や車の借入は、他市町村の業者からでも可能か。

総務課

答 生涯学習講演会の開催、小町ふれあいフェスタへの出展や親子体験クラブの開催時の謝礼、ぐるっと小野町講座事業などを実施する予定であった。

答 町内外での制限はない。

在実施中、また今後新たに土地改良事業を実施する場合には、町が責任をもつて行う。

総務文教常任委員会

税務課

問 小野町税特別措置条例に該当する企業はどのくらいあるのか。

答 町内に該当する企業はない。

厚生産業常任委員会

問

高齢者福祉対策基金を廃止し、地域福祉基金のみの設置となるわけだが、基金を活用する場合の基準等は設けてあるのか。

答 条例の外に基金の活用に係る具体的な要領等はない。

健康福祉課

問 今後も地域福祉基金への積み増しはあるのか。

答 普通会計に余裕があれば積み増しも可能と考えるが、現在余剰財源はない状況である。



審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	賛否								
				會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	渡邊直忠	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣
11月第1回会議	町長	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定例会12月会議	町長	令和2年度小野町一般会計・各特別会計等補正予算 5件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町議会議員及び小野町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町税特別措置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町高齢者福祉対策基金条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町テレワーク用パソコン購入契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※紙面の関係上、予算決算関係議案と人事議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(2月下旬掲載予定)

渡邊 直忠 議員 7ページ

- 1 未来へ おのまち総合計画について
 - ①大和田昭町長の今後のまちづくりの基本姿勢について
 - ②役場庁舎の整備推進について
- ◆ ③まちなか再生計画について
- ④豊かで活力ある農業づくりについて
- ⑤小野町の基幹作物の選定・育成・指導について
- ◆ ⑥小野インターチェンジ周辺開発の推進について

会田 明生 議員 8ページ

- 1 子育て支援について
 - ①子育て支援基金の使途について
- 2 介護予防事業について
 - ◆ ①介護認定率の改善方法について
- 3 産業振興について
 - ①6次産業化と発酵のまちづくり推進について
 - ②有害鳥獣駆除事業について
- 4 生活排水処理について
 - ◆ ①合併処理浄化槽の整備促進について

緑川 久子 議員 9ページ

- 1 デジタル化推進の取り組みについて
 - ◆ ①“持続可能なまち”の実現に向けた、デジタル化による“スマートタウン構想”について
 - ◆ ②デジタル化推進の課題について
～「デジタル化推進対策室」の設置と人材育成

先崎 勝馬 議員 10ページ

- 1 こまちダムについて
 - ◆ ①こまちダム活用についての提案

會田 百合子 議員 11ページ

- 1 GIGAスクール構想の実現に向けた整備について
 - ◆ ①構想の実現により授業内容やカリキュラムなどはどういうに変わるのか
 - ②高速通信整備やセキュリティ対策に問題はないのか
 - ③ICT機器の児童や生徒への健康等への影響をどう認識しているのか
 - ④人を育てる教育現場について
- 2 サマーキャンプ中学生の翼について
 - ◆ ①生徒の感想の広報掲載について
- 3 生涯現役社会の実現について
 - ①生涯現役で活躍できる対応について
 - ②健康面と労働事故のリスクについて
 - ③公共交通の確保について





渡邊直忠議員



まちなか再生として 小規模な区画整理事業を実施しては



コンパクトなまちづくりのための 調査研究を行う



仲町・品ノ木・館
廻・横町・殿町地内の一部の地区については医療福祉施設があることから、空間再編賃貸い創出事業を活用し、役場庁舎整備を含めた小規模で柔軟な区画整理事業を実施してはどうですか。町長の見解を伺います。

町長 空間再編賃貸い創出事業によるスポット的に柔軟な区画整理を実施すること

は、まちなかのにぎわいを創出するためには効な手段であると考えます。また、地域に不可欠な医療や福祉施設などの誘導施設

を導入する誘導施設整備区については、仲町地内などを含め、コンパクトなまちづくりと地域交通の再編による「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めるため、他地区においても、同様な整備区設定についての検討も必要であります。また、地域に不可欠な医療や福祉施設などの誘導施設



小野インターチェンジ周辺開発の推進は



国の支援制度や民間活力を最大限生かし開発を進める

進めています。

再質問 官民協働開発事業体※の活用や公募設置管理制度(Park-PFI)、社会資本整備総合交付金による官民連携型賃貸い創出事業等

町長 小野一C周辺の開発にあたっては、周辺の整備状況や新型コロナウイルス感染症の影響による新しい生活様式への転換などの新しい価値観を考えますが、町長の見解を伺います。

構想の見直しを行い、地域のにぎわいを生み出す拠点整備に向け、基本計画を策定して参ります。

町長 小野一C周辺を官民協働開発事業体の活用により整備することや、小野公園の整備に新たな整備管理制度である公募設置管理制度を導入することにつ

いては、国の支援制度の活用も含めて、P.P.P. P.F.Iなどの官民連携手法の調査を行い、民間活力を最大限生かした持続可能な手法で進めるべきと考えます。



エリアタウン構想が策定されている小野インターチェンジ周辺

ポストコロナ社会における新たな価値観を基本構想に取り入れ、実現に向けた施策の集合体が具体的な開発エリアを形成する観点から、構想の実現に向けた基本計画を策定して参ります。

※自治体が公有地を現物出資し、民間事業者が土地価格に相当する資金を出資してつくった事業体が、公共施設と民間施設を複合的に整備し、開発をマネジメントまで行うこと。

問

介護認定率の改善方法は

答

新たな介護予防教室等の事業を展開し 改善に努める

町長 小野町の介護認定率につきましては、県下59市町村中、高い方から11番目となっています。

介護認定率の改善に向けては、運動機能の維持向上を目的として、ヘルスアップ教室や各地域での運動教室「元気がーい」な

問 小野町は、介護認定率が県平均よりも高い状況にあるが、「健康で長生き」できる小野町を目指し、今後、どのようにして認定率の改善を図るのか伺います。



今後、さらなる健康寿命の延伸に向け、町民全体における健康新意識の高揚に向けた情報発信の強化や、新たな介護予防教室等の事業を展開し、引き続き、地域包括ケアシステムの充実を図り、介護認定率の改善に努めて参ります。

問 小野町の生活排水処理は、合併処理浄化槽により行われて進めているところであります。今後、さらなる健康寿命の延伸に向け、町民全体における健康新意識の高揚に向けた情報発信の強化や、新たな介護予防教室等の事業を展開し、引き続き、地域包括ケアシステムの充実を図り、介護認定率の改善に努めて参ります。

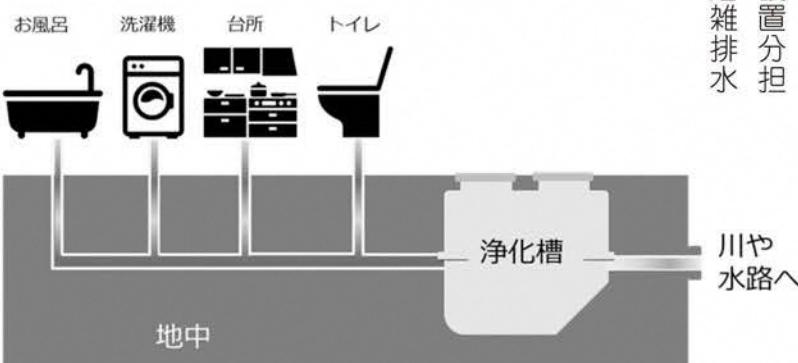
会田 明生 議員



年次においては、高齢者の生活習慣病の重症化予防に関わる相談・指導をはじめとする、保健事業と介護事業の一体的実施を予定しており、事業の実施に向け、現在検討を進めているところであります。

問 小野町の生活排水処理は、合併処理浄化槽により行われて住民の設置機運が高まらないこと、そして、合併処理浄化槽の普及率は低い状況にあります。良好な河川水質の維持、水環境の保全には普及率を高める必要がありますが、課題は何か伺います。

町長 本町における生活排水処理率は56.3%と低い値です。ただし、し尿のみを処理する単独処理浄化槽と合併処理浄化槽を合わせた水洗化率は97.3%です。課題としましては、一般家庭での水



浄化槽のイメージ図

問

啓発や個人負担の軽減などにより設置意欲の向上を図る

答

合併処理浄化槽の整備促進の課題は

洗化率が高く生活に不便を感じないこと、住民の設置機運が高まらないこと、そして、合併処理浄化槽への転換に際して、設置分担金のほか、生活雑排水を合併処理するための宅内配管の改修工事費を負担が必要と思われます。

などについて工夫と検討を行い、設置意欲の向上が図られるよう進めて参ります。



緑川 久子 議員

国・県の動向を注視していくとともに、他の自治体の取り組みについても、地域活性化や利便性向上など期待されるところがあります。



持続可能なまちの実現に向けたデジタル化の方針は



利便性や地域活力の向上が期待されるため調査研究を進める

デジタル化は少子高齢化、人口減少社会を迎える自治体においては、ICTを生かした事務の効率化と行政サービスの向上、産業振興活性化が期待されており、町でも将来的に「スマートタウン構想」を視野に入れた「持続可能なまち」「安心して暮らせるまち」を実現するためにも、まずはこの時代の対応と合わせてデジタル化の推進は必要なプロセスといえます。以上の観点を取り組みについての町の方針を伺います。

町長 新型コロナウイルス感染拡大により、社会全体のデジタル化の重要性がこれまで以上に高まっています。その一つであるスマートシティ構想は、医療や交通、教育、行政手続きなど、生活全般にまたがる複数の分野でAI（人工知能）などを活用する先端的なサービスを導入することで、便利で暮らしやすいまちを実現していくものであります。

スマートシティ
⇒ 都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区

「スマートシティの実現に向けて【中間とりまとめ】概要版より」(出典:国土交通省)

デジタル化への取り組みは、人口減少や少子高齢化など、持続可能な活力あるまちづくりの手段として有効であり、町民の利便性や地域活力の向上などが期待されるところです。

これらの課題に対応していくためには、組みと考えられます。町の見解を伺いま

問 デジタル化の推進にあたっては、効率化や地域の活性化などを参考にしながら、今後のデジタル化社会に向けて、調査研究して参ります。

が組みと考えられます。町の見解を伺いま

町長 デジタル化を推進するには、解決しなければならない課題が多数あります。ご提案のデジタル推進対策室の設置につきましては、有効な手段の一つであると捉えておりますが、限られた人的資源、職員数により行政運営をしておりますことから、専任部署の設置は難しい状況です。

しかしながら、内部組織としまして、情報化推進本部及び情報化推進本部専門部会の設置を規定しておりますので、これらを活用いたしまして、各課を横断するデジタル化推進の組織として、運営に努めて参ります。

また、人材の育成に従事の受講による技術習得の支援や専門的知識を有する職員の確保について検討して参ります。



情報化推進本部の活用と外部研修の受講等で対応していく



「デジタル推進対策室」の設置と人材育成は



こまちダム活用のため マイクロ水力発電を実施しては

答

県事業の活用や民間事業者の 参入可能性などを検討する

町長 こまちダムは、黒森川上流の菖蒲谷字堂田地内に位置します。

こまちダム及びこまち浄水場の活用を図るためのマイクロ水

の浄水場が設置されているが全く機能していない状態です。なんとか観光やイベン

ト会場として利用すべきではないかと考

え、そのために自然落下を利用したマイクロ水力発電機の設置を提案します。

問 こまちダムは、町の浄水場が設置されているが全く機能していない状態です。なんとか観光やイベン

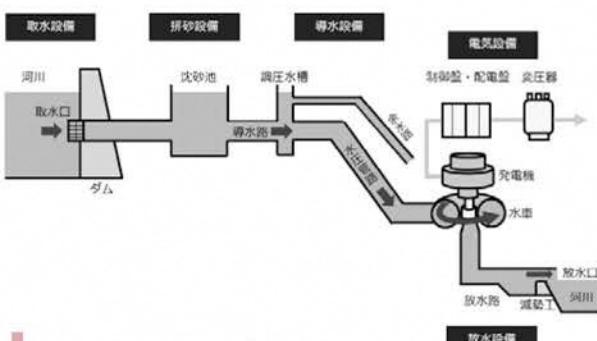
ト会場として利用すべきではないかと考

え、そのために自然落下を利用したマイクロ水力発電機の設置を提案します。

脱炭素社会を見据え、県と協議して進めるべきと考えますが、町長の考えを伺いま



先崎 勝馬 議員



小水力発電設備のイメージ図

水力発電設備設置への事業活用の可能性や設備を設置した場合の採算性、民間事業者の参入可能性などを検討して参ります。

また、当該事業の活用にあたっては、こまちダムの管理者で

もある県との連絡を密にし、水利権の問題などを含めたマイクロ水力発電設置の可否についても、併せて協議して参ります。



こまちダムの堤体

流域の安全・安心を図る洪水調節、豊かな暮らしを支える上水道用水の確保を行うとともに、灌漑用水の安定化及び河川環境の保全を目的に、県事業により建設され、平成19年に竣工した多目的ダムです。

ダム建設に併せ、町の上水道施設であるこまち浄水場を整備し、同年度より給水を開始いたしました。しかし、近年の給水人口減少に伴い、既存施設の八反田浄水場や楓木内浄水場の給水能力により、給水区域内の供給が賄われるところから、平成30年度よりこまち浄水場の運転を休止している状況であります。

町としては、これを機会として当該事業の詳細な内容が公表され次第、マイクロの参入などにも期待がされています。



會田 百合子 議員



GIGAスクール構想の実現により授業内容などはどのように変わるのか



タブレット端末など情報機器の特性を生かした学習活動を行う

問 Web教材やGIGAスクール構想により各教科の授業の方法が違つてきますが、これまでとは具体的にどのように変わったのですか。

Web教材の選択や教職員のICTの利用方法により、授業の効果に相当な差が出るのではないですか。

教育長

新学習指導要領には、学習の基盤となる資質・能力として、情報活用能力について、位置づけられました。

具体的には、一斉学習では、電子黒板等

GIGAスクール構想の実現へ

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」



文部科学省

「GIGAスクール構想の実現へ」リーフレット表紙
(出典:文部科学省ホームページ)

による画像の拡大提示や書き込み、動画等の活用。個別学習では、インターネット等

写真・動画等の記録や作品の制作。協働学習

では、タブレットを活用した議論や他校との交流活動。さらには、家庭学習でタブレットの活用が可能となりますので、それぞれの情報機器の特性を生かしながら、授業の工夫改善に努め、学習活動の一層の充実を図ります。

また、これらの実践には、活用する教員の指導力を高めていくことが重要です。今年度小野町ICT活用推進委員会を設置し、ICT関連備品やウェブ教材等の選定や活用方法の検討を行っています。7月にはプログラミング学習研修会を実施し、教員の実践的指導力の向上に努めています。7月にはプロトタイプについて、参加された生徒の感想が写真とともに広報に掲載されています。



サマー・キャンプ中学生の翼に参加した生徒の感想を広報に掲載してほしい



小野町の将来に必要なことなどの意見や感想を掲載したい

問 本年はコロナの影響で中止となつたサマー・キャンプ中学生の翼については、参加された生徒の感想が写真とともに広報に掲載されています。

これまでには、事前研修の中でそれぞれに目標を掲げ、どのような手法でそれを達成するのかを考え参考になりました。

中学生の立場としてサマー・キャンプを体験してきて、小野町がさらに良くなるためにどの様なことを考えたか等の感想も加えて参考になることにより、小野町と同時に中学生の思いも町民に伝わると考えますが、いかがですか。

ナウイルス感染症のため中止としましたが、昨年まで27回を数え、延べ422名の団員を派遣してきたところです。

これまで、事前研修の中では、訪問先の目標を掲げ、どのような手法でそれを達成するのかを考え参考になりました。

今後は、訪問先のグレンロックでの研修を踏まえて、将来の小野町にどんなことが必要なのかを併せて考

えてもらい、率直な意見や感想を述べることができるよう、事前

事後の研修会を工夫し、広報誌等を通じて

広く町民の皆さんに

お知らせしたいと思

います。

ます。

11

町長 サマー・キャンプ中学生の翼事業につきましては、平成4年度に第1回目を実施し、本年度は、新型コロナ

ウイルス感染症のため中止としましたが、昨年まで27回を数え、延べ422名の団員を派遣してきたところです。これまでには、事前研修の中でそれぞれに目標を掲げ、どのような手法でそれを達成するのかを考え参考になりました。今後は、訪問先のグレンロックでの研修を踏まえて、将来の小野町にどんなことが必要なのかを併せて考えてもらい、率直な意見や感想を述べることができるよう、事前事後の研修会を工夫し、広報誌等を通じて広く町民の皆さんにお知らせしたいと思います。



どうなった? あの一般質問を検証!

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

病児に対する一時的保育実施施設の計画について

質問

おのまち総合計画の中に、現在実施していない病児の一時保育の実施とあり、保育を行うために認定こども園と医療機関に専用スペースを確保して対応するとあるが、その計画と取組について伺います。

(平成30年定例会12月会議)

答弁

まずは、医療機関での実施を優先に、関係機関との調整を進めたいと考えております。現在は、幼児教育施設での体調不良による早退園児数等を調査し、病児保育の需要の把握や他の市町村の実施方法及び医療状況等の情報収集に取り組んでおります。



令和4年4月の認定こども園の開園により、園内の専用施設において体調不良児及び病後児の一時保育を開始します。あわせて、病児保育については、町外医療機関の広域的利用を実施する予定であり、町内医療機関についても実施に向けて協議を進めています。

その後



▲認定こども園の完成イメージ



▲認定こども園の建設予定地

議会活動トピックス

「小野活気あげバーガーお披露目会」(12月26日)

第9回「ご当地!絶品うまいもん甲子園」決勝大会において、準優勝(食料産業局長賞)に輝いた小野高校家庭クラブのメニュー「小野活気あげバーガー」のお披露目会が開催されました。

お披露目会では、小針校長先生より経過報告と小野高校家庭クラブの橋本みなみさん、吉田七海さん、我妻祐花さんから、メニューに込めた思いやレシピを完成させるまでの経過などが発表され、試食となりました。

「小野活気あげバーガー」は、小野町産の新鮮な野菜をふんだんに使用して、かき揚げにしたものを小野町産の米粉の入ったパンズに挟んだバーガーです。

小野高校家庭クラブでは、2018年(平成30年)の「美女伝説到来!魔法のサラダうどん りこぴんぴん」での準優勝(食料産業局長賞)以来、2度目の受賞となります。今後もご当地の食材を使ったメニューで、優勝目指して頑張ってください。



メニューについて発表する左から吉田さん、我妻さん、橋本さん



「小野活気あげバーガー」の試食

議会活動日誌

11月

- 5日 田村地方市町議会議長会会議（三春町）
- 12日 月例全員協議会／棚倉町議会正副議長等来庁
- 15日 第32回ふくしま駅伝小野町チーム報告会
- 17日 小野高校との包括連携協定締結式
- 20日 新過疎法制定実現総決起大会・全国過疎地域自立促進連盟定期総会（東京都）
- 23日 小野町65周年記念功労者表彰式
- 25日 例月出納検査／除雪車両出動式
- 25日～27日 令和2年度定期監査
- 27日 郡山地方広域消防組合議会（郡山市）
- 30日 議会運営委員会／全員協議会／小野町議会11月第1回会議
議会運営委員会／全員協議会

12月

- 1日 新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 3日～9日 小野町議会定例会12月会議
- 9日 月例全員協議会／議会広報編集委員会
- 24日 公立小野町地方総合病院企業団議会定例会
- 25日 例月出納検査
- 26日 小野高校「小野活気あげバーガー」お披露目会
※13ページに関連記事掲載

1月

- 12日 月例全員協議会
- 18日 認定こども園地鎮祭
- 28日 田村広域行政組合議会 議会運営委員会・全員協議会（三春町）



1月18日 認定こども園地鎮祭

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。



議会の映像を インターネットで配信します

開かれた議会を目指し、より議会を身近に感じていただくため、令和3年定例会2月会議より議会の本会議(一般質問)について、YouTube(ユーチューブ)による配信を行います。

新型コロナウイルス感染症の拡大などもあり、傍聴に来られない方もご自宅などで議会の様子がご覧になります。

ぜひ、ご覧ください。

視聴の仕方

小野町議会ホームページから▶

<https://www.town.ono.fukushima.jp/soshiki/10/>



- ①小野町議会のホームページにアクセスし、「議会映像配信(ユーチューブ)について」を選択します。
- ②「ライブ配信はこちら」をクリックすると、YouTube(ユーチューブ)へ移動します。

議会組織に関すること

2020年2月18日更新 議員紹介
2020年2月18日更新 議会のしくみ
2020年2月18日更新 小野町議会の組織
2012年3月23日更新 講師・陳情

議会映像配信

2021年1月20日更新 [議会映像配信\(ユーチューブ\)について](#)

議長交際費に関すること

2021年1月15日更新 [議長交際費の公表について](#)

議会だよりに関すること

//

更新日は変更となりますのでご了承ください。

配信の内容

- ①配信する内容は、議会本会議の一般質問のみとなります。
- ②配信はライブ配信のみとなります。
- ③ライブ配信された動画は一定期間視聴可能となります、会議録の掲載に合わせて視聴できなくなります。



*議会ホームページ内の注意(免責)事項を確認のうえ、視聴してください。

令和3年
2月12日発行

165号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻92

0247-72-6930

議会からの お知らせ

定例会2月会議は 2月18日(木)から開会します。

一般質問は2月19日(金)の予定です。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
 - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

QRコードから
アクセス
してください



 マチイロ
マチを好きになるアプリ

スマホ用アプリ
マチイロで配信しています!

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」
をお届けできるよう、スマートフォン用無料広
報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。
ぜひ、ご覧ください。

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委 員 長	田 村 弘 文
副 委 員 長	竹 川 里 志
委 員	宗 像 芳 男
委 員	会 田 明 生
委 員	先 崎 勝 馬
委 員	緑 川 久 子
委 員	中 野 孝 一
委 員	會 田 百 合 子

小野町議会広報編集委員会 委員

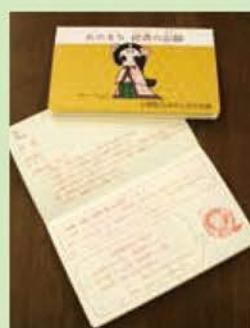
開かれた議会を目指し、今年度
より一般質問のネット配信が始
まります。皆様のご意見ご感想を
お待ちしています。

コロナ禍の中、町民の皆様との
意見交換、他市町村との交流会や
研修など、多くの活動が見送ら
れ、ウィズ「コロナ時代を踏まえた
これから情報収集、共有化など
の課題が出てきた一年でした。新
しい年を迎える人が今年こ
そ平穏な日常が戻ることを願つ
たのではないでしょうか。

ある歌に「夜明けの来ない夜は
ないさ♪」という先の見えない不
安な心に寄り添ってくれるフレー
グがあります。明日を信じ、今は
新しい生活様式を守り、支えあい
歩んでいきましょう。

表紙の写真

ふるさと文化の館では、昨年11月より図書
館で借りた本の記録ができる読書通帳「おの
まち読書の記録」が導入されました。現在
220名以上の方が登録されています。
自宅で過ごす時間が増えていると思います
ので、この機会に図書・新聞に親しんでみては
いかがでしょう？



読書通帳
「おのまち読書の記録」



この印刷物は、FSC®の基準に従って
認証された適切に管理された森からの
木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページも
ご覧ください

あとがき